

第52期第12回常任幹事会 報告

日時：2023年3月23日(木) 13:40～15:45

会場：東京労働会館5階地評会議室

出欠：吉田、稲葉、加藤(年)、白滝、千葉、阿久津、山根、相川、市橋、小形、岡本、加藤(都)、加藤(教)、木崎、國米、佐久間、菅谷、田村、築館、中山、細見、前沢、森松、吉野、小川、窪田

オブ：坂本、高橋

14/26 (●会場、□リモート、__欠席)

議長：小川

会議開始前に保険証廃止法案は撤回を！国会内集会にオンラインで参加した。

会長挨拶

マイナンバーカード 銀行口座を登録することは、内容を見る訳ではないと言っているが信用できない。政府は最初保険証資格を集めるが、医療の情報は集めないと言っていた。しかし、今は電子カルテから医療情報を集めて医療情報プラットフォームを作って、医療だけでなく、経済界も含めて利用しようと言っている。資産状況を調べて給付の額を決めていくことに使われる流れだと思う。マイナ保険証になったら、人に知られたくない医療情報を他人に利用されてしまう可能性が出てくる。私たちは保険証を今まで通り使っていく事だと思う。そういう人が多い程、政府はマイナ保険証をしにくくなると思う。

昨日、日本が野球で優勝し、最近日本はスポーツにおいて優れた地域になってきた。しかし、逆に日本は経済力だけでなく、特にモラルの低下が著しい。公文書改ざん、統一教会の問題など。統一教会と関係が深い議員がまだ続けている。こういう人達が政治をやっている。そう言った中で出された保険証廃止など符合すると感じる。統一地方選があり、政府は3万円のばらまきやウクライナ訪問など世間受けするようなことをやっている。それに対して反対している人もいるということを出して統一地方選は頑張りたいと思う。

加盟団体の活動交流

1) 東京土建一般労働組合

国会内集会に現地参加のため欠席との事で、次回以降に報告してもらう。

2) 東京高齢期運動連絡会

31回定期大会を先日行った。30周年過ぎた。49団体と9個人会員で構成され、主な団体は医療関係で22団体、退職者団体が10、地域を代表する団体が9(三多摩は三多摩高齢期運動連絡会でまとめて1団体、23区に8団体)、民主団体が5、労働組合が3(年金者組合、東京自治労連、建交労)。会長、副会長4人、事務局長と事務局次長が4人、常任幹事が15人。財政は年間予算が約100万円と小さく、うち会費収入が40万円。会費は2千～5万円。

基本に置いている運動は、高齢期の要求実現。単組であれば、要請を出せるが、連絡会

組織なので、呼びかけや交流をやる形態である。

取り組みは、主催しているのが高齢者大会、豊かな高齢期をめざす東京のつどい。呼びかけて協力してもらい実施している。今年のつどいは、630人が参加した。今年11月には日本高齢者大会を東京で行う。11月12日に大正大学で分科会、12日に文京シビックホール。実行委員会に団体加盟してもらい、委員を出してもらいなど呼びかけている。

さらに、社会保障の運動。75歳以上医療費2倍化中止署名は84万筆集めたが、100万筆をめざす。自治体要求運動も重視をしたい。他団体とも協力して都内全体の様子が解る様にしていきたい。三多摩で補聴器、保健所増設、PFAS問題に取り組む。高齢者人権宣言の普及も重視していく。

*次回は東京民主医療機関連合会と東京地方労働組合評議会にお願いします（質疑も入れて各15分程度で）。

I、報告

1、活動報告

- 02月 21日(火) 13:00～ 生存権裁判を支える東京連絡会第5回幹事会
22日(水) 13:30～ 豊かな高齢期をめざす東京のつどい なかのZERO大ホール
18:00～ 中央社保協第7回代表者会議
24日(金) 12:00～ 全国各界連宣伝 新宿駅南口
25日(土) 13:30～ 東京高齢期運動連絡会第31回定期総会 杉並区立方南区民集会所
26日(日) 13:30～ 都立病院の充実を求める連絡会2023年度総会
文京シビックシルバーホール
- 03月 01日(水) 10:30～ ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい第3分科会
「生存権裁判の現状と展望」 地下中会議室&オンライン
10:30～ 中央社保協第7回介護障害者部会
13:30～ 中央社保協第7回運営委員会
04日(土) 13:30～ 生存権裁判を支える東京連絡会 第14回総会
14:30～ // 原告を励ますつどい
けんせつプラザ東京
- 07日(火) 18:00～ いのちのとりで全国アクション運営委員会 オンライン
08日(水) 10:00～ 介護をよくする東京の会
13日(月) 13:30～ 中央社保協関甲信ブロック会議 オンライン
14日(火) 12:00～ 4の日宣伝行動 巣鴨駅
15日(水) 18:00～ 介護をよくする東京の会総会2023年度総会・学習会
「介護改悪の動向」 5階会議室&オンライン
17日(金) 13:30～ 都民連世話人会議
23日(木) 12:30～ 保険証廃止法案は撤回を！国会内集会 第2衆議国会館多目的室
13:30～ 東京社保協第52期第13回常任幹事会

15:00～ 人権としての医療・介護東京実行委員会

2、中央社保協、加盟団体の取り組み

(1) 中央社保協

中央社保協第6回運営委員会議案

資料：1～3

(2) 加盟団体・友誼団体の総会・学習会など

- 2月19日(日)13:40～ 東久留米社保協第19回総会 介護学習 窪田
- 2月25日(土)13:30～ 東京高齢期運動連絡会第31回定期総会 小川
- 2月26日(日)13:30～ 都立病院の充実を求める連絡会総会 小川、窪田
- 3月18日(土)12:00～ 東京自治体労働組合連合会第35回定期大会 メッセージ
- 3月19日(日)10:00～ 東京土建一般労働組合第76回定期大会 メッセージ
- 3月22日(水)18:30～ 台東社保協総会 小川

(3) 事務局・幹事団体

1) 人権としての医療・介護東京実行委員会 <会議なし>

①次回会議 3月23日(木)15:30～ 5階東京地評会議室

2) 介護をよくする東京の会

①事務局会議 3月8日(水)10:00～11:10 5階東京地評会議室

- ・2/1 介護署名リスタート集会 完全オンライン 106名参加
- ・コロナ5類に移行しても介護事業所は従来のままの対策を続ける。
- ・本日回答指定日で国立病院機構など全医労職場は初めてのストを構えている。

②協議事項

- ・3月15日(水)18時～ 2023年度総会と学習会 地評会議室とオンライン
講演「介護改悪の動向について」 講師：全日本民医連介護福祉部 高梨さん
議案や資料、役割分担を論議

③当面の日程

- ・3/25(土)14時～ サタデーアッピール宣伝 上野駅広小路口
- ・3/29(水)12時15分～ 第2回介護署名提出行動と厚労交渉
- ・5/14(日)12時～ 4の日宣伝 巣鴨駅頭
16時～ 介護署名提出前ラスト行動 上野駅広小路口
- ・5/22(月)10時半～ 最終回 介護署名提出行動 第2衆議院会館多目的室

④次回事務局会議 5月10日(水)10時～ 5階東京地評会議室

3) 生存権裁判を支える東京連絡会

- ①幹事会 2月21日(火)13:10~14:45 5階東京地評会議室
- ・2/7口頭弁論日行動 宣伝20名、傍聴40名、報告会43名参加
進行協議で裁判長から原告有利と思われる発言があった。来年3月までに現裁判体で判決の予定。
 - ・次回口頭弁論4月27日(木)15時~、次々回7月21日(金)13時半~、晩秋頃結審のペース
 - ・1/31日弁連会長が厚労大臣と面会して、保護基準の決め方の改善、原告勝利が続いているので決着を、基準部会に弁護士を入れろと要請した。弁護士を入れることについては、「難しいが検討させる」と一歩踏みこんだ発言があった。
- ②協議事項
- ・3月4日(土)13時半~ 第14回総会と原告励ますつどい けんせつプラザ東京
議案、決算予算、各団体への次期幹事派遣要請文、各政党への案内、当日の役割分担について論議した。
- ③次回幹事会 4月21日(金)13時半~ 5階地評会議室

4) 消費税廃止東京各界連絡会 <今月は事務局会議なし>

資料：4

- ・宣伝 2月24日(金) 12:00~13:00 新宿駅南口 全国各界連宣伝
3月24日(金) 12:00~12:45 大塚駅南口
- ①次回事務局団体会議 月 日()13:45~15:00

5) 東京高齢期運動連絡会

- ①常任幹事会 3月16日(木)14:00~16:30 東部区民事務所
- ・2/25第31回総会報告
 - ・新役員体制と年間会議日程の提案
 - ・自治体要請行動は、キャラバン方式で2001年度には51自治体で実施していた。2021年度20自治体となっている。05年度あたりから頭ごなしにやらないとしてキャラバンではやらない事にした。地域での活動の下に地域高齢者の要求を集め、地域の実態をつかみ、予算に反映させる運動へ結集させる。それが高齢者大会成功にも結び付く。これを重点課題として取り組むことを決めた。
 - ・・・自治体要請が全体としてやられていけば良いのではないか？それを掴むしくみをつくらればよいのではないか？高連や社保協で各地域の状況を共有する方向を考えている。
 - ・・・20自治体とあるのは、回答を貰って東京高連に集中しているものだけ、多摩ではその他にも回答書はないが、交渉をやっているところがあり、30の内25自治体位はある。今年はいずれも要請書や回答書を集めて公表するようにしたい。
 - ・75歳以上の医療費窓口負担2倍化中止のとりくみ
アンケートなどで影響を受けた具体的な声が集約されてきている。署名は4団体84万筆の到達。その後なかなか集まらない。署名提出集会を6月5日(月)11時~開催予定。
 - ・高齢者人権宣言リーフレットを作成し、これからおりてくる。おろし50円で100円/部で

販売するので、普及して欲しい。

- ・第35回日本高連大会の報告集も千円/部で販売するので、注文をとりたい。

②第36回日本高齢者大会in東京について

11月12日(日)13時～16時半、講座・分科会 夜の企画 時間未定 大正大学

11月13日(月)10:15～13:00 文京シビックセンター大ホール

メインテーマ「戦争を防ぎ、国民のいのちとくらしを守る」

全体会講師：柳沢協二 (元内閣官房副長官補・NPO法人国際地政学研究所理事長、
新外交イニシアティブ理事)

スローガン、講座、分科会については、企画チームを立ち上げ検討中

参加目標 会場で2千人、延べ4千人。Webで全体会2千人、分科会千人、延べ3千人

3/28第4回実行委員会へ結集をはかる。企画内容等について、意見を出して欲しい。

③次回常任幹事会 5月18日(木)14:00～ 東部区民事務所

6) 都民連

①世話人会議 3月17日(金) 13:30～15:00 5階地評会議室

- ・2/15 12:15～第1回都議会定例会開会日行動

東京都庁第1本庁舎前の歩道に100人参加。5団体 (①医療福祉の充実を：東京民医連、
②賃金・単価問題、公共発注問題：東京土建、③物価高騰対策、インボイス門団などを
中心に、営業を守る取り組み：東商連、④立川市外へのオスプレイ飛行問題や都内PFAS
汚染問題について：東京平和委員会、⑤子どもの権利としての教育環境問題・定数問題
について：都教組) からの決意表明。

②協議事項

- ・都議会定例会開会日行動は、次回は日程未公表。
- ・支援要請について

- ・3/24(金) 天海訴訟東京高裁判決への支援 14時～傍聴、12:30～裁判所前宣伝
- ・統一地方選では都内16市区で首長選が実施される。くらし改善要求と政治参加を結び
付けた企画が都民連参加団体で検討 (5/11に首長シンポ) されており、協力する。
- ・3/24(金)18時半～、連合会館203会議室 いわき市民訴訟仙台高裁判決を受け、最高
裁を中心としての行動検討の会議への参加を呼びかける。
- ・4/5(水)18:30～文京シビックセンター小ホール (定員:341人、オンライン併用)、東
京革新懇が都民の声が届く都政を連続学習講演会として、東京の貧困と格差をテーマ
に、阿部彩(東京都立大学教授)を講師の学習講演会を開催。参加を呼びかける。

③次回世話人会 5月19日(金)13:30～ 東京労働会館5階東京地評会議室

(4) 共闘団体など

資料：5～11

- ・全日本年金者組合より最高裁宛「年金引き下げ違憲訴訟の公正判決を求める要請書」へ
の団体署名要請があり、東京社保協として提出した。
- …署名提出期限は？聞かないと解らない。

- ・天海訴訟 東京高裁判決 3月24日(金)14時～ 判決 101号法廷
16時～ 報告集会 第2衆議員会館 第1会議室
- …国民が注目していることを示すために、ぜひ参加して欲しい。車いすで岡山、大阪、名古屋から参加する。4月には報告集会をやる予定なのでまたお知らせしたい。
- ・民医連が統一地方選挙にあたっての基本要求を發表しました。
- …全日本民医連が全国の基本要求を出した。これを基に東京の要求を明日の理事会で決める。75歳以上医療費2倍化影響のアンケート結果が出されたので、見て欲しい。東京では1,277名分その他に健生会独自の670名分が寄せられた。特に高額療養費の手続きを半数がやっておらず、やり方が解らないという人が3割近くあった。激変緩和措置がなくなったら、58%が受診を控えると答えている。次回この内容と手遅れ死亡事例の資料を出す。
- …東京の基本要求に高齢者が受診できないのだから、自治体としての支援策を追加すべきではないか？

3、会計報告

綴末資料

月次については、12月から年度延長会計としましたので、通年と延長分の損益表を作成しています。

収入について：2月は講師料と日本高齢者大会へ参加した際の、全国旅行支援による戻り金をその他収入として計上しました。延長会計での収入累計は242万5,561円、執行率101.8%、通年会計での収入累計は987万8,643円、執行率101.0%となっています。

支出について：今月の特徴的な支出は、編集ソフトの動作が不安定になったところ、追加購入割引の案内があったので購入しました。また、学習会開催補助金申請が1件、全商連発行の国保提言パンフを100部購入し、加盟団へ1部ずつ配布しました。延長会計での支出累計は176万681円、執行率74.5%、通年会計での支出累計は921万3,763円、執行率94.2%となっています。

延長会計期間残り一か月となり、3月に大きな支出がなければ、財政調整資金から繰り入れることなく延長会計期間を終えることとなりそうです。

…次期会費の請求はいつ頃になるのか？4月以降に請求したいと思う。

II、協議事項

1、情勢から

(1) 国保「国庫負担減額措置は全廃を」全国知事会

全国知事会の三日月大造・次世代育成支援対策プロジェクトチームリーダー（滋賀県知事）は2月28日、小倉将信こども政策担当大臣に「こども政策の充実に向けた緊急提言」を提出した。全国一律の医療費助成制度の早期創設を求めるとともに、地方自治体が小学生以上の子どもに医療費助成をした場合に、国保の国庫負担が減額される措置の全廃を要望した。

また、国保に加入する子どもの均等割保険料の軽減措置について、対象年齢の拡大と軽減割合の拡充を要望した。4年度から導入された軽減制度は、未就学児を対象に、均等割を5割軽減する仕組み。このほか、不妊治療の保険適用範囲拡大なども要望した。

(3/6付 国保情報)

(2) 国保料・税の「コロナ減免」 4年度末で終了

関連資料：12～14

厚労省はこのほど、新型コロナウイルス感染症に感染するなどして収入が減少した国保被保険者の保険料減免について、「4年度相当分保険料（税）までで財政支援を終了する」とした事務連絡を都道府県に示した。コロナの感染拡大を受けて、国が減免基準を決めその費用を全額財政支援しているが、政府が新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを、5月8日から5類に移行するとして受け、終了を決めた。

コロナに感染した被保険者などへの傷病手当金への財政支援も、5類への移行を契機に終了する。5月7日までの感染等が対象になる。

(3/6付 国保情報)

(3) コロナの診療拒否、応召義務の「正当事由」に該当せず

新型コロナウイルスの類型変更に伴い、政府が10日にまとめた医療提供体制の見直し方針では、コロナ感染・疑いを理由に診療を拒否することは、応召義務が免除される「正当な事由」に該当しないと明確にした。本来、特定の感染症への罹患のみを理由とした診療拒否は、応召義務が免除される正当な事由に該当しない。しかし、コロナは2類感染症と同様に、特定の医療機関で対応すべきとされ、例外扱いになってきた。類型変更を機に、この例外扱いを改めることで、より幅広い医療機関がコロナ患者に対応できるようにする狙いがある。

●入院の高額療養費、限度額を2万円減額

コロナ患者の窓口負担に関する公費支援も見直す。類型変更に伴う窓口負担の急激な増加を避けるため、入院医療では9月末まで、高額療養費制度の自己負担限度額から2万円を減額する措置を講じる。自己負担限度額が2万円に満たない場合は、その額を減額する。

入院・外来ともに、コロナ治療薬の薬剤費の公費支援を9月末まで続ける。10月以降の対応は、感染状況などを踏まえて再検討する。薬剤費以外の外来診療の自己負担については、公費支援を終了する。こうした措置により、コロナ患者の自己負担分を、季節性インフルエンザの治療とほぼ同等にする

(3/13付 メディファックス)

2、当面の重点課題

(1) 東京社保協独自の取り組みなど

1) 都内医療提供体制の充実を求める

2/26都立病院の充実を求める連絡会が2023年度総会を開催し、独法化中止を求める闘いを総括するとともに、独法化された都立病院の医療サービス後退を許さず、直営に戻すこ

とを視野に入れた運動方針を確認しました。また、総会では尾林弁護士が「都立病院のこれからを考える」と題して講演し、独法化されたが、運動が医療を後退させないという「手かせ足かせ」をかけ、新自由主義の転換をさせて公共サービスとは何かを問う運動であることをこの間の経過を実態にそって解明しました。

…総会の中で、決して今まで通りではない報告がされた。大塚では内科が細分化されて同じ病院の中でも紹介料が課されることになった。個室料も勝手に上げられるようになってるので、職員から勝手にあげるなという声を出して欲しいというアンケートが寄せられた。荏原では、百人の欠員で3病棟が閉鎖されているが、独法化とともに賃金労働条件が悪くなって職員が退職しているという動きがどこでも現れている。アンケート用紙に書ききれないくらいの職場状況が寄せられている。千位集めて6月にこれらを基に要請を考えている。門前だけではなく、各団体にもアンケート協力をお願いしたい。まとめた状況を東京社保協に送付する。

…府中と北療育センターを残せと運動をだいぶやってきた。来年度予算に北の建て替え検討が載せられている。都立として残せという運動をやっていかないとならない。

…療育センターは城南、城北分園とあわせて都立病院と一体で運営していた。福祉保健局がメインの事業局なので、建て替えにあたっての情報を集め、説明を求めていく必要がある。府中は家族会が強い、北は家族会がない。

東京都と都立病院機構は広尾病院及び広尾看護専門学校整備を予定総額724億円のPFI方式で入札公告を行いました。すべての入札参加予定者が辞退届を出し、事業進行に狂いが生じました。今後の予定について、ホームページで公表するとしています。今後神経病院、多摩北部医療センターなどPFI方式が計画されていることから都や病院機構の対応や動向を注視していく必要があります。

…額を相当上げないと契約にならないのではないか？状況を説明する要求書を昨日提出した。額が引きあがると現在PFIでやっている駒込、松沢、多摩小児、多摩総合から額をあげろという要求が出てくるのではないかと？すべてPFIでやるとなると、東部、南多摩、荏原、大久保の建て替えしないとならないところがすべてゼネコンの支配下となる。都は言いなりにお金をこれまで出してきた。患者に負担させるか、資産売却をして病院を転売するとか大幅に行政的医療が撤退する可能性がある。

2) 新生存権裁判東京 勝利に向けた取り組み

資料：15～20

3/1「生存権裁判の現状と展望」学習会（豊かな高齢期をめざす東京のつどい第3分科会としてのコラボ企画）に18名（会場12、Web6）が参加、3/4生存権裁判を支える東京連絡会の第14回総会に56名、原告励ます集いに61名が参加しました。集いはコロナ禍によるこの間の交流制限の影響か？原告参加が4名と少なかったものの、裁判勝利の展望が開けてきている状況も語られ、支える会も含めて再決起を促す場になったと思います。また、東京はさく裁判の弁護士が参加し、連携のキッカケの場ともなりました。

名古屋高裁の本人尋問では、3/15に統計学専門の鈴木北海学園大学准教授が引き下げの根拠になった物価指数が「異常値」であったことを明らかにするとともに、3/16の尋問で元厚労省課長補佐も生活扶助物価指数は一般世帯の支出構成を反映したものであり、生活

保護利用者の実態とはかけ離れたものと認めざるを得なくなりました。

3/24判決の和歌山、青森、3/29判決の埼玉をはじめ、高裁で初めての判決となる4/14大阪高裁での判決が注目されます。千葉地裁は4/14判決予定日が延期されました。これらの判決結果にもよりますが、早期に政治決着をつける素地が固まっていく機運が高まっています。首都圏の裁判が東京高裁へと控訴されることも含めて、東京で世論と運動を盛り上げ、全国を引っ張る勢いをつくっていきたいと思います。それは、朝日訴訟以来の社会保障制度全体の水準を引き上げることを意味し、展望を切り拓くことにもなります。

全国の裁判状況を見据えて、「いのちのとりで裁判全国アクション」では全国の運動を結集し、世論に訴える国会集会在下記の日程で開催されます。

3月30日(木) 13時～ 第1衆議員会館 第4会議室 厚労要請・記者会見

4月17日(月) 12時～ 第1衆議員会館 大会議室 国会行動・議員要請

①署名・学習会の取り組み

総会では、東京判決までに5万筆の目標を掲げました。署名提出数は累計で28,072筆です。全国状況や東京地裁裁判が大詰めを迎えることから、再度署名の取り組みの強化をお願いします。

②裁判所法廷傍聴を呼びかけ、傍聴席から溢れさせる

次回口頭弁論は、常任幹事会の定例日、4月27日(木)15時から東京地裁103号法廷です。法廷では、原告側の主張を経済学者の証言で立証するとともに、国側もパワポを使って反論との事で、論争が繰り広げられる予定です。当日は地裁前行動と閉廷後に報告会を行いますので、これらへの参加をお願いします。

次々回口頭弁論は、7月21日(金)13時半からで、原告複数人の本人尋問の予定、そして中秋頃に結審、来年3月までに判決になるだろうとの事です。

3) 自治体への調査や自治体・議会への要請など (一部再掲)

資料：21～30

各地域社保協の取り組み状況をお知らせください。請願・陳情書なども含めて社保協間での交流を行っていきたいと思います。

また、来年度にむけて各自治体から様々な計画のパブリックコメント応募が実施されると思われます。ぜひ、積極的にコメントを送付しましょう。

現在、東京社保協として実施・計画・課題としている調査・要請は下記の通りです。都内自治体に対しての調査については、地域社保協や諸団体の協力もお願いしたいと思います。

①第7期介護給付準備基金と8期への繰入調査

・51/62自治体は集約(23区はすべて)、多摩と島嶼の11自治体を早急に集約する。

②国保実態調査 …今年度は断念、再度内容を精査・準備して来年度春に実施する

・地域社保協宛に国保料に関する調査アンケートを送付していますので、ご協力ください。

・第3期に向けて、都知事選も実施されることから今年は従来やっていた「都議会への

高すぎる国保料を引き下げよ」という請願を計画したいと思います。

③東京後期高齢者医療広域連合及び議会への働きかけ

今国会で全世代型社会保障構築法案改定により、制度に修正を加えて保険料値上げの可能性が大きいので、可能な限り早い時期に要請・議会請願を行います。次回の議会は7月臨時会です。地域社保協でつながりのある議員を紹介してください。

また現在、4/17必着で運営会議委員を公募しており、応募者を組織してください。

…皆で応募して私たちの声が反映される様にしたい。周囲に声をかけてください。

④加齢性難聴について

第1回定例都議会に議員提案されるので、その3月に予定される委員会での審議状況などを踏まえながら、統一地方選挙で争点化し、実現させていきましょう。

…5自治体実施予定。4月から府中、秋に日野、小金井と日野が実施。清瀬は委員会通ったが、本会議でどうなるか？

4) 東京社保協ライン公式アカウントの試験運用とお友達登録のお願い（再掲）

- ・現時点では学習会や集会などのお知らせ、申し込みを都度発信しています。お友達45アカウントとなりました。引き続き、登録・拡散をお願いします。

5) 「4の日」宣伝（Since2017年2月～）など

①東京社保協・中央社保協の共同での「4の日宣伝」

- ・4月14日（金）12時～、巣鴨駅前

②各地域社保協での独自・共同宣伝（再掲）

9の日宣伝、25日宣伝や消費税宣伝に諸団体と合同しての実施も含めて、地域社保協として計画してください。中央社保協が各種プラカード案を作成しています。

③3月24日（金） 全都いっせい宣伝

統一地方選挙にむけて「STOP大増税 いのち・平和を守る政治へ地域から転換を」社会保障・税制東京アクションとして、全都でいっせいに各地域での宣伝を諸団体と共同して呼びかけています。

6) 社会保障入門テキストなど学習会の開催について（一部再掲）

資料：31～33

- ・統一地方選挙や再来年度の医療・介護報酬、制度改定を意識して各地域での学習会開催を旺盛に進めてください。講師料・会場費などへの補助を年間1万円まで/団体をします。申請してください。
- ・社保誌初夏号での入門テキスト第2弾が作成され、注文を4月18日まで受け付けています。各団体で積極的に注文・活用してください。東京社保協としては100部注文して、加盟団体に1部ずつ卸したいと思います。

…国分寺社保協幹事会で、介護保険の学習会開催をめぐって論議になった。介護保険を抜本的に改善する方針がないと学習会の軸が決まらないのでは？力が結集できる方針が出

せないと署名も集まらない。方向性が出せないのか？誰が出すのか？抜本的改革提言案では物足りない。介護保険制度はいらぬという人もいる。現状に立ってどう要望していくのかという人もいる。国民的な論議をしていかないと世論にもならない。介護は保険証だけでは利用できない、そもそも医療からはじき出したものが介護、その仕組みを根本的に変えないとならないのでは？介護を論議するにはみんなの温度差がある。そこも難しくて悩んでいる。抜本的改革提言案で論議して意見を寄せて欲しい。

(2) 中央社保協の取り組み関連

1) 全国署名など社会保障制度充実

資料：34～40

- ・2/8よりスタートした社保協署名「軍事費の拡大ではなく社会保障の拡充を求める請願」のチラシ兼署名用紙が完成しました。東京社保協として千部買い取りし、サンプルも兼ねて加盟団体に定期便でおろします。取り組み期間は2025年6月（＝現衆議院の任期満了）まで、目標100万筆です。

6月8日（木）14時半～ 署名取り組み集会として国会行動 場所未定

- ・介護署名は統一地方選挙での争点化するとともに、選挙後の検討とされた①利用料の2割化②多床室の室料負担③高所得者の1号保険料の引き上げ④福祉用具販売化、を許さない取り組みとしても、国会会期中に署名目標50万筆に向けて署名を積み上げていきます。

署名の国会提出行動は下記の日程で行います。

3月29日（水）12時15分～ 介護署名提出行動 参議員会館前
14時半～ 厚労省交渉 参議員会館+Web

5月22日（月）10時半～12時 集会・介護署名提出行動（最終）
参議員会館多目的室+Web

- ・統一地方選挙での争点化をするために、中央社保協は介護7団体と連名で候補者向けの要請書のひな型を作成しました。また、世田谷社保協では、1票差で区議会宛の介護充実を求める請願が否決されたことから、その力関係を変えようと利用料2割負担対象拡大反対署名と議員意見の取り組みを開始しています。これらを参考に統一地方選挙において地域で活用してください。

2) マイナンバーカード問題

資料：41～47

2/22に東京保険医協会の医師274人がオンライン資格確認システム導入義務の無効確認や慰謝料を国に求め、東京地裁に提訴しました。

本日会議直前に「保険証廃止法案は撤回！国会内集会」が開催されました。法案審議も始まっています。引き続き、学習会や署名の取り組みを強めましょう。

…マイナンバーカードを作ることが悪のような話と受け取る人がいるので、丁寧に説明しないとならない。

3) 改憲阻止、核兵器禁止にむけた取り組み（再掲）

資料：52～53

憲法共同センターなどで構成された「大軍拡NO！連絡会」が「平和、いのち、くらしをこわす大軍拡、大増税に反対する請願」署名を作成しました。取り組み期間は通常国会中で、第一、二次集約を2月、3月末として最終集約が5月中旬との事です。9、25日宣伝とともに取り組みましょう。

- ・5月28日(日) 25条共同行動学習集会 ラパスホールとオンライン
- ・「憲法改悪を許さない全国署名」の取り組みも推進していきましょう。

4) 中央社保協オンライン連続学習会（再掲）

中央社保協のホームページから参加申込ください。

4/5(水)18時～ 「社会的危機の歴史背景と闘いの方向」 講師：後藤道夫氏

5) 第67回中央社保協総会と第50回中央社保学校 from 岡山

総会：7月5日(水) 10～16時 全労連会館2階ホール+Web

学校：9月16日～17日(日) 岡山市勤労者福祉センター+Web

3、当面の取り組みについて

(1) 地域社保協活動調査の実施について

資料：48

調査用紙を2月3日に送付し、2月末までの回答としましたが、まだ10地域のみのお返事に留まっています。一昨年は32地域からの回答、今期会費納入36地域ですので、引き続き3月末までの回答にご協力ください。集約した結果は総会で報告します。

(2) 第53回総会の開催について

資料：49～51と綴末資料

日程：5月13日(土) 10～16時 けんせつプラザ東京

内容：講演1 「来年度の医療介護福祉いっせい改定に向けての運動」

寺尾正之（日本医療総合研究所）さん

講演2 「東京都政の現状と改革の展望」

末延渥史（都政研究家）さん

総会で総括・方針、予算決算、各団体からの討論（活動交流）、役員提案

終了後役員交流会（コロナの状況による）

- ・議案（総括・方針・予決算）については、次回幹事会までに案を作成し、メールで配信、幹事会で論議して頂く予定です。
- ・主な日程：7月－地域社保協交流会、10月と4月－東京社保学校、総会－5月
…10月は次期計画のパブコメなども見据えながら、4月は都知事選を見据えながらテーマを設定していくのはどうか？

- ・当日、討論で発言頂きたい団体を提案ください。
 - …この間新しく加盟して頂いた団体には発言してもらったかどうか？
 - …足立区議会では介護請願が採択され、意見書を出した。この到達について話してもらったかどうか？医労連がこの間取り組んできた。
- ・本日以降、現在派遣頂いている団体に幹事（役員）派遣の要請を行います。新たに加える団体はありますでしょうか？

4、決裁事項 …承認

- ・社会保障の拡充を求める署名用紙千枚 ¥3,000
 - ・社保誌初夏号（社会保障入門テキスト）100部 ¥55,000
- それぞれ加盟団体に送付予定

5、要請事項、その他

（1）加盟団体・友誼団体の学習会、総会あいさつなど

- 3月24日（金）18：00～ 中央社保協第8回代表者会議
18：30～ 葛飾社保協第28回総会 窪田
- 3月25日（土）10：00～ 世田谷健康友の会 マイナンバー学習会 窪田
18：20～ 東京保険医協会第107回定時総会記念懇親会 窪田
- 3月27日（月）13：30～ 東京土建小平東村山支部 高齢者の社会保障学習会 小川
- 3月30日（木）18：30～ 新宿社保協第25回総会 小川
- 3月29日（水）14：30～ 民医労多摩北部医療支部 介護学習会 窪田
- 4月09日（日）18：30～ 東京土建小金井国分寺支部第55回定期大会 メッセージ

（2）当面の日程

- 03月23日（木）15：30～ 人権としての医療・介護東京実行委員会
29日（水）12：30～ 第2回介護署名国会提出行動
30日（木）13：00～ いのちのとりで裁判全国アクション 国会記者会見
- 04月12日（水）10：30～ 中央社保協第8回介護障害者部会
13：30～ 中央社保協第8回運営委員会
- 14日（火）12：00～ 4の日宣伝行動 巣鴨駅
- 21日（金）13：00～ 生存権裁判を支える東京連絡会 幹事会 5階会議室
- 27日（木）13：30～ 東京社保協第52期第13回常任幹事会
15：00～ 生存権裁判東京口頭弁論・報告集会

（3）常任幹事会の日程（定例日：毎月第4木曜日）

次回 4月27日（木） 13：30～ 5階東京地評会議室とオンライン

<資料>

第52期(2022年度) 東京社保協役員(敬称略)

2023年3月23日現在

会長	吉田 章	再	東京保険医協会	
副会長	稲葉 多喜生	新	東京自治労連	
	加藤 勝則	新	年金者組合都本部	
	白滝 誠	再	東京地評	
	千葉 一郎	再	東京土建	
	<調整中>		東京民医連	
事務局長	窪田 光	新	東京社保協専従(東京民医連)	
事務局次長	小川 均	新	東京社保協専従(東京土建)	
	阿久津 光	再	東京地評	
	山根 浩	再	東京民医連	
常任幹事	相川 義和	再	三多摩健康友の会・三多摩高齢期運動連絡会	
	市橋 博	再	障都連	
	小形 歩	再	東京保険医協会	
	岡本 卓郎	再	西東京社保協	
	加藤 勝治	再	都生連	
	加藤 裕子	再	都教組	
	木崎 泰彦	再	東商連	
	國米 秀明	再	福保労東京地本	
	佐久間 千絵	新	新婦人都本部	
	菅谷 正見	再	東京高齢期運動連絡会	
	田村 彰宏	再	東京土建	
	築館 和久	再	東京歯科保険医協会	
	中山 幸子	新	国分寺社保協	
	細見 学	再	東京医労連	
	前沢 淑子	再	都立病院の充実を求める連絡会	
	森松 伸治	再	北区社保協	
	吉野 五郎	再	葛飾社保協	
	<調整中>		東京自治労連	
	会計監査	神山 民夫	再	こくみん共済coop東京推進本部
		矢野 正明	再	東京歯科保険医協会

東京社保協加盟団体（順不同）

2023年3月現在

No	地域社保協	No	地域社保協	No	都団体	No	都団体
1	千代田社保協	24	八王子社保協	1	障都連	24	C U 東京
2	中央区社保協	25	立川社保協	2	新日本婦人の会都本部	25	東京公害患者と家族の会
3	港社保協	26	武蔵野社保協	3	東京医労連	26	東京公務公共一般労組
4	新宿社保協	27	三鷹社保協	4	東京国公共闘	27	東京私教連
5	文京社保協	28	府中社保協	5	東京自治労連	28	東京民医連退職者の会
6	台東社保協	29	昭島社保協	6	東京商工団体連合会	29	都障教組
7	墨田社保協	30	調布社保協	7	東京地評	30	東友会
8	江東社保協	31	町田社保協	8	東京土建一般労働組合	31	婦人民主クラブ東京都支部協議会
9	品川社保協	32	小金井社保協	9	東京歯科保険医協会	32	東京都生協連医療部会
10	目黒社保協	33	小平社保協	10	東京都生活と健康を守る会連合会	33	都立病院の充実を求める連絡会
11	大田社保協	34	日野社保協	11	東京都老後保障推進協会	34	東京母親大会連絡会
12	世田谷社保協	35	東村山社保協	12	東京保険医協会	35	東京高齢期運動連絡会
13	渋谷社保協	36	国分寺社保協	13	東京民医連	36	東京視覚障害者協会
14	中野社保協	37	国立社保協	14	都教組	37	生協労連東京都連合会
15	杉並社保協	38	狛江社保協	15	年金者組合東京都本部		
16	豊島社保協	39	村山・大和社保協	16	福祉保育労組東京地本		
17	北区社保協	40	清瀬社保協	17	建交労東京都本部		
18	荒川社保協	41	東久留米社保協	18	国土交通労働組合羽田航空支部		
19	板橋社保協	42	多摩社保協	19	国労東京地方本部		
20	練馬社保協	43	稲城社保協	20	自由法曹団東京支部		
21	足立社保協	44	西東京社保協	21	新日本医師協会東京支部		
22	葛飾社保協	45	西多摩社保協	22	全建総連東京都連		
23	江戸川社保協			23	こくみん共済coop東京推進本部		